

2024年1月17日

課題名：肺癌術前の身体機能が術後のアウトカムに及ぼす影響

◆研究の目的と概要◆

当院では、肺癌患者さんの手術後の状態について調べています。この調査では、手術前の身体機能(バランス能力や筋力など)と手術後の在院日数・合併症の発症有無等の関係性を調べることを目的としています。これらを明らかにし、今後のよりよい診療・リハビリテーションを行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2021年9月から、2023年12月までの間に、肺癌であると診断され当院呼吸器外科で手術を施行された方。

◆研究に使用される情報◆

診療録より年齢、性別、BMI、肺癌の組織型、喫煙歴、肺機能検査の結果(肺活量、1秒量、肺拡散能)、術前・術後6分間歩行試験の結果、Short Physical Performance Battery(筋力やバランスの検査)、手術時間、術式(開胸、胸腔鏡またはロボット手術)、肺の切除範囲、術後の肺合併症発症有無、手術翌日の離床状況、在院日数、胸腔ドレーン留置日数

◆情報の研究利用開始日◆

2024年3月1日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録(カルテ)からの情報を利用します。

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院  
リハビリテーション部 研究責任者 倉田和範  
E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難である等の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法  
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明